鹿児島県大島郡与論町朝戸方言の否定の表現

町　博光

Ⅰ　はじめに

1）調査対象地：　奄美諸島の最南端に位置する与論島は、鹿児島市から５９２㎞、沖縄本島那覇市からは１１６㎞にある。沖縄本島北端とは２８㎞しか離れていない。行政区画上は鹿児島県に属する。周囲２１．９㎞、面積２０．８２㎢。一島で一町を形成し、９小字からなる。人口７千２百余。近年、人口の増減はほとんどなく安定している。

朝戸集落は、島のほぼ中央に位置する。（人口５６７人、昭和６３年）

生業は、砂糖きび栽培を主とした農業である。漁業は自給程度。これに、大島紬の生産と観光業が加わる。鹿児島・沖縄本島那覇への船便・航空便とも整備されている。

2）調査年月日：１９９５年7月２５日

3）話者：吉田ケイ氏　１９２８年生（６７歳）　農業（紬織り）

4）調査者・調査場所：吉田氏宅で、町博光が面接でおこなった。

5）調査方法：統一調査票による質問調査。吉田氏は『方言資料叢刊』第１巻から第４巻までの話者。調査者も内省がきくので、吉田氏の答えを中心に他の表現も採録していった。

6）表記方法：方言事象は音声記号で表記する。アクセントは文例にのみ高音部に棒線を付す。話者の説明は（　）で示す。文例は○印で示す。提示されたもの以外の文例には、共通語訳を付す。

Ⅱ　調査結果

Ⅰ　動作・作用の否定表現

1　行かない　○ʔaminu puigisakutu çu:ja ʔida:katiɴ ʔikannu.　琉球方言域内でも -nnu と否定辞 -nu（ぬ）の前に n を挿入する形は特徴的である。

2　降らない　○çu:ja ʔamja: puranu.　pruannu と言い切ると、断定の強い口調となる。推測を表すには、○çu:ja ʔamja: puranu padʒi.このように padʒi（筈）を付ける。いわゆる体言化表現となる。

3　行きません　○çu:ja ʔida:tiɴ ʔikja:birannu.　nnu で終止すると、強い意志の表現となる。bira は、ていねいの助動詞 bjuɴ の未然形である。

4　行きはしない　○çu:ja ʔida:katiɴ ʔikja:ʃirannu.（普通は ʔikannu と言う。もって回った言いかたである。）

5　いらっしゃらない　ʔwa:dʒi／ʔwannu　dʒi（<ず）系の否定辞と nu（<ぬ）系の否

定辞の両形が使われる。ʔwa:dʒi は「先生はどこにもいらっしゃっていない」と現在の状況を事実として述べている。ʔwannu は、「先生はどこにもいらっしゃらないだろう」と自己の推測が加わる。

6 行かなかった　○ʔidá:tiN ʔikantaN. 自己の経験を述べる表現には nu 系の N が使われる。

7 行きはしなかった　ʔikja: ʃirantaN

8 行くまい　ʔikaŋgane:ʃuraN 逐語訳すれば、<行かないようにしておらむ>の意である。「～まい」に当たる言いかたはない。

9 出まい　ʔidʒiraŋgane:ʃuraN

10 すまい　ʃiraŋgane:ʃuraN

11 降らないだろう　○çu:ja ʔamja: {①purannu padʒi. ②purannu.} nu で終止しても推測の意が加わる。padʒi（<筈）で終止するいわゆる体言化表現のばあい、確信の度合いが強くなる。

12 降るにちがいない　○ʔattʃa:ja ginni puju:ru padʒi. ginni は「きっと」に当たる。自己の確信を述べるには padʒi で終止する体言化表現をとるのが一般的である。

13 来ない　kunnu

14 来はしない　ki:ja ʃirannu（<来は為(し)らぬ）

15 来なかった　kuntaN

16 見ない　mjannu／mja:dʒi

17 居ない　wurannu／wuradʒi

18 行かずに　○ʔidá:tiN ʔikaŋgané:ʃi ja:nai wuraN. ʔikaŋgane:ʃi は逐語訳をすると「行かないがようにして」となる。

19 行かなくても　ʔikambaN

20 行かなければ　ʔikambo:

21 行かねば　ʔikambo:

22 行かねばならない　ʔikambo: narannu

23 ～ズ（ヤ・ジャ・ダ）　該当する表現はない

24 行きもせず、来もしない　ʔikinʃiradʒi ki:jinʃiradʒi

25 行くか行かないかわからない　ʔikjunka ʔikannuka {①wakarannu ②wakaradʒi} ①は第三者が行くか行かないかわからないのであり、②は現在の状況において、自分の意志が固まっていないことを言う。

II　存在・状態・判断の否定表現

26 無い　ne:　「無い」そのものには ne: が対応する。文例の「これだけしか無い」には、○Fussadu ʔajui.<これぞ　有る.>と「有ることの少なさ」を強調した言いか

たがとられる。du は係助詞の「ぞ」に当たる。

27 無い　ne:

28 ありはしない　ʔarja: ʃirannu

29 無かった　nentaN

30 ありはしなかった　ʔaija ʃirantaN

31 無いだろう　nennu／nennu padʒi

32 無ければ　○haʃʃi ʔatʃisaru natʃa: nembaN naju:ru munu.＜こんな　暑さある夏は　無くばも　なゆる　もの＞

33 暑くない　ʔatʃikune:／ʔatʃikunne:

34 暑くはない　ʔatʃikwa:ne:

35 暑くなかった　ʔatʃikunentaN

36 暑くはなかった　ʔatʃikwa:nentaN

37 暑くないだろう　nennu／nennu padʒi

38 涼しくない　ʃida:kune:／ʃida:ʃikune:

39 にぎやかでない　ɲigijako: ʔarannu　「にぎやかでは有らない」とわざわざ「有る」ことを否定している。「にぎやか」に当たる ɲigijaka は本土語からの移入語。

40 にぎやかではない　ɲigijako: ʔarannu　39に同じ。

41 にぎやかでなかった　ɲigijako: ʔarantaN

42 にぎやかではなかった　ɲigijako: ʔarantaN　41に同じ。

43 にぎやかではなかろう　ɲigijako: ʔarannu／ɲigijako: ʔarannu padʒi

44 花ではない　panaja ʔarannu／pano: ʔarannu

Ⅲ　特定の慣用句による否定（不可・禁止）表現

45 だめだ　narannu

46 だめな　ʔittʃaN narannu　「どうにもならない」で代用する。

47 つまらない　「つまらない」の対応語はない。jo:ɲisaru putu＜愚かなこと＞が該当する。

48 いけない　naranu／narannu　narannu のほうが禁止の度合いが強い。

49 行カレン　該当する表現はない

50 行くな　ʔikunna／ʔikuna

51 するな　ʃinna ʃina の言いかたはない

52 行くもんではない　ʔikju:ru muna: ʔarannu

53 たまらない　Fune:raradʒi　「こらえられない」に相当する言いかたである。自己の感情を表明する表現なので dʒi が使われている。

54 しかたがない　ʔittʃaN narannu／naranu

55 楽ではない　jaʃikunne:／jaʃikune:

56 歩きたくない　ʔaikitʃakune:

57 大丈夫だ　○suwa:ʃirambaN najuN.　najuN（<なる）は「（心配しなくても）よい」の意である。「他の言いかたは思い浮かばない。」

Ⅳ　否定の応答表現

58 いや　ʔa:ji:

59 いや（強い否定）　ʔa:ji:

60 いいえ　ʔa:ji:　ていねい差による応答詞の使い分けは認められない。

61 いや（否定問いかけに対する応答）　①ʔa:ji: puju:taN　②jiN purantaN

62 どういたしまして　○ʔa:ji: gantʃigadi.　逐語訳すると<いいえ　そうまで>の意である。

Ⅴ　不可能の表現

63 できない　ʃi:nannu

64 読むことができない（状況）　jumaradʒi　状況否定には dʒi 系が使われる。「私には読めない」との眼前の状況の否定である。jumarannu は暗過ぎて読めないだろうという話者の推測の加わった状況否定の表現である。

65 読むことができない（能力）　juminannu　第三者の能力否定にも、話し手自身の能力否定にも、narannu／nannu が使われる。○wana: juminannu. 私は読めない。○ʔarja: juminannu. あいつは読めない。

66 出られない（心理的状況）　ʔidʒiraradʒi　心理的状況を説明するばあいは dʒi 系が使われる。

67 食べられない　ko:rannu／kororannu

68 食べることができない　ko:radʒi／kororadʒi　忙し過ぎる状況を眼前にしての説明である。

Ⅵ　反語・反発の強調表現

69 知るものか　ʃittʃummui　mui は反語の疑問詞である。

70 誰が行くものか　○ta:ga ʔikjuŋgo: jai.

71 なんで行くか（行くものか）　○nu:nati ʔikjuŋgo: jai.

72 なんで恥ずかしいものか（なんで恥ずかしかろうか）　○nu:nu pantʃikaʃaŋ　ga.　<何が　恥ずかしさある　か。>

73 行かないでおるものか（行くとも！）　○ʔikaŋgane: ʃum mi:jai.　<行かないが

ように　する　ものか。>

74　やれるか　　○ʃirarjum mi:jāi.

75　シテイラン　　該当する言いかたはない。

Ⅶ　特定の副詞の関わる否定表現（付、否定形式の見られる特定副詞）

76　少しもはかどらない（少しも～ない）　　○ʔatʃisanu muttu pakadurādʒi.　muttu（少しも）と dʒiが呼応する。pakadurannu だと「こんな暑さでははかどらないだろう」と話者の推測が加わる。

77　ぜんぜんできていない（ぜんぜん～ない）　　○ʃiguta: muttu susūduradʒi.　眼前の仕事の進行状況についての説明である。

78　いっこうに降らない（いっこうに～ない）　　○ʔaminu muttu puradʒi.

79　あまり降らない（あまり～ない）　　○Futabja: ʔamja: duku puradʒi.

80　（予想外に）たくさんとれた　　①muijinka:rannu ʔupusa tutaN.　muijinka:rannu は「思いもかからぬ」の意である。②muijinka:rannu を使う。

Ⅷ　その他の否定形式の関わる諸表現

81　いいではないか　　najummai　mai は疑問の助詞である。否定辞は用いられていない。

82　いいのではないか　　najuNja ʔarannui　逐語訳すれば<なゆる（いい）は　あらないのか>となる。

83　いいかもしれない　　najuNja ʔarannui　82と同じ。

84　行かないか　　ʔikannui　○ma:dʒiN ʔikaN nui.　nui は極端な上昇調をとることはない。

85　くれないか　　kuriri　「くれないか」のように否定形を使うことはない。kuriri は「くれろ」に対応する。

86　くれませんか　　kuriri ba:　願望の意を表す助詞の ba: が付いて、ていねいさを表す。

87　下さいませんか　　○Furi muttʃi taba:ri ba:.<これ　持って　給われ　ばや。>ていねいさを表すには否定形を使わず、尊敬の助動詞 taba:ri を付ける。

88　行かないと（～行けば）　　ʔikambo:

Ⅸ　おわりに

調査表にしたがって、与論島朝戸方言の否定の表現を記述してきた。本土方言と対照して以下の３点が特徴として指摘されよう。

1　nu（<ぬ）系と dʒi（<ず）系の対立が認められる。両者の違いを ʔikjuN（行く）についてまとめると次のようになる。

nu 系	ʔikannu	行かない	動作主の動作意志の否定
	ʔikarannu	行けない	動作主の否定判断
	ʔikinarannu	行けない	動作主の能力否定
	／ʔikinannu		
dʒi 系	ʔikadʒi	行かない	眼前の動作主の動作否定
	ʔikaradʒi	行けない	眼前の状況否定
	ʔikinaradʒi	行けない	眼前の動作主の能力否定
	／ʔikina:dʒi		

nu 系と dʒi 系の基本的な用法差は、nu 系が話者の推測が加わる判断否定であるのに対して、dʒi 系は、眼前の具体的な動作・作用についての否定である点に認められる。

2　「不可能の表現」では、九州方言につながる najuN（なる）を用いた能力否定と、可能の助動詞 rjuN（～られる）を用いた状況否定の対立が見られる。

3　「存在しないこと」を表すのに、直接「ない」と表現せずに、「あることはない」と間接的な否定をとることがある。「花ではない」を pano: ʔarannu＜花では　あらない＞と表現するようなばあいである。また、「これだけしかない」を Fussadu ʔajui＜これだけぞ　ある＞とするような表現も類似の発想であろう。

言語表現においては、結局、肯定と否定の両者しかないとすれば、人間の表現の生活上、否定するという言語行為において、さまざまに意匠をこらした表現方法をとるものと考えられる。本土方言と琉球方言との否定の表現差は、彼我の否定の精神差につながるものであろう。

（まち　ひろみつ・広島大学教育学部）